

【 議事要旨 】

会議名	鎌倉地域の消防施設の整備について	作成者	消防総務課
-----	------------------	-----	-------

開催日時	令和 7 年 8 月 5 日(火曜日) 17 時 30 分から 19 時 00 分
開催場所	鎌倉青少年会館 小研修室
参加者	大蔵自治会 17 名 □消防本部 ・次長兼消防総務課長 中嶋、消防総務課 総務担当 担当係長 大澤 □総務部 ・公的不動産活用課 担当課長 上林、課長補佐 西村
内容	【議事要旨】 □大蔵自治会会長の進行により開始した。 1 開会の挨拶【次長兼消防総務課長 中嶋】 まだ暑さが残る中、多くの住民の出席に感謝の意を表した。鎌倉地域の新しい消防施設の計画が進行中であり、本説明会は、取得した土地を基にした建設計画案の報告を目的としている。また、住民説明会の終了後、設計業者と契約し、市役所に対して必要な届出等を行う予定で、各種届出前の事前説明であると話した。 2 職員紹介 職員が自己紹介を行った。 3 議事進行【消防総務課総務担当担当係長 大澤】 別添資料に基づき、説明を行った。 (1) 現状と課題、事業計画について (2) これまでの経過 (3) 進捗状況の説明 ・基本計画の策定について ・設計業務について ・環境影響調査の実施について (4) 今後のスケジュールについて (5) 質疑応答 【主な質問と回答】 1 由比ガ浜地区の救急対応について 質問：消防施設が雪ノ下に移転した場合、由比ヶ浜地区の救急対応に支障が出るのではないか。 回答：現在の鎌倉消防署や浄明寺出張所の管轄エリアを再配置することで、効率的なカバーが可能になるよう計画しています。交通量調査の結果も考慮し、

対応を具体化する予定です。

2 鎌倉消防署と浄明寺出張所の災害出動件数について

(1)質問：救急及び火災の出動件数はどのくらいか。

回答：年間、鎌倉救急隊で約 2,000 件、浄明寺救急隊で約 1,000 件となっています。火災については、令和6年の鎌倉消防署管内で6件、浄明寺出張所管内で2件でした。救急件数は、ここ2年間で2900件から3000件を推移しており、1日平均に換算すると、鎌倉消防署管内では約5件、浄明寺出張所管内では3件となります。時間帯別では、朝の午前6時から14時が平均3件、午後14時から22時も平均3件、午後22時から翌朝の6時が平均2件となっています。

(2)質問：最新のデータを提供してもらえるか。

回答：更新したデータをお示します。

(3)質問：それぞれの署から出動した台数を教えてほしい。

回答：確認し、データをお示しします。

3 (仮称) 雪ノ下消防出張所の配置車両について

(1)質問：鎌倉消防署と浄明寺出張所に配置している車両はすべて雪ノ下に配置するのか？

回答：配置予定車両は7台となります。現在、鎌倉消防署に配置しているはしご車や非常用車両は雪ノ下に配置の予定はありません。消防署が1署になることで、消防力の整備指針上、はしご車は市内に1台で足りることになります。

4 発掘調査期間について

(1)質問：発掘調査を1年と見込んでいるが、延びる可能性は想定しているか。

回答：雪ノ下4丁目周辺の過去の発掘調査状況を鑑みて、概ね1年を想定しています。何かしら発掘されることは想定していますが、現場保存レベルは想定していないので1年以上になることは想定していません。

5 騒音の影響とその対応策について

(1)質問：サイレン音が地域に与える影響についてどのように対応するのか。

回答：環境影響調査に基づき、遮音設計や騒音の軽減策を検討します。また、救急車のコンフォートサイレンといった耳障りな音を抑えるための技術を駆使し、近隣への影響を最小限にする試みをしています。

(2)質問：通常のサイレンとコンフォートサイレンの音比べを次回示してほしいがどうか？

回答：お示しできる方法を検討します。(市のHPに掲載を予定)

6 環境影響調査について

(1)質問：環境影響調査の内容を詳しく教えてほしいがいかかがか。

	回答：調査の内容は、騒音調査と交通量調査で、移転先と移転元（鎌倉消防署、浄明寺出張所）での調査となります。 この環境影響調査は、消防庁舎の建設に際して騒音対策として住宅の前に防音壁を設置するというような対策は現実にはできない中で、消防庁舎が竣工したときに地域住民に与える音の影響をどうすれば最小限にできるかを分析し、これから実施する設計業務に活かすことが一番の目的であることをご理解いただきたいと思います。 (2)質問：調査は土日だけでなく、平日も取った方がよいのではないか。 回答：すでに業務計画のとおり調査を進めているので、計画変更ができるか業者に打診するとともに、発注者側でも平日の調査の必要性について検討します。 7 交通量と渋滞の影響について (1)質問：目の前の通りは今でも交通量が多く、近くバス停にバスが停車しているときなど、車が動かないようなタイミングもある中で、出勤などに影響がないか懸念されるが、どのような対策を考えているのか。 回答：消防庁舎の前面道路はゼブラゾーンとするため、出勤には影響はありません。現在の浄明寺出張所から救急出動するときも、雪ノ下を通っていますが、渋滞があっても道路の中央を歩いて走行できている状況です。また、環境影響調査で渋滞や交通量に関する詳細なデータを収集し、雪ノ下で救急車や消防車の通行が円滑に行えるよう進めていきます。 8 訓練時の騒音と施設使用について (1)質問：消防庁舎で実施する訓練音が騒音問題になるのではないか。 回答：環境影響調査の調査結果を考慮し、屋内での訓練を推進し、訓練時の音の地域住民への影響を極力最小限に抑えるよう設計を行っていきます。 9 住民の意見反映について (1)質問：調査内容や計画の住民への情報開示はどうするのか。 回答：調査内容や結果については、可能な範囲で公表し、住民の意見を設計に反映させていけるよう検討していきます。過去の資料や会議録等もHPに公開するなど、透明性をもった対応を図っていきます。
今後対応	いただいた要望に関し、委託業者や関係機関と調整して対応してまいります。また、過去の議事録や資料、8月2日及び5日の説明会の議事内容の公表といった要望も多く、今後は透明性を持った情報共有を図ってまいりたいと考えています。